

## [研究会記事] 歴史地震研究会だより 2022年5月～2023年4月

歴史地震研究会幹事会

### 1. 前号以降の歴史地震研究会の活動(2022年5月～2023年4月)と今後の予定

2022年

- 6月22日(水) 2021年度第5回幹事会(オンライン会議)
- 8月12日(金) 2022年度第1回幹事会(オンライン会議)
- 9月17日(土)～19日(月・祝) 第39回歴史地震研究会(高槻大会)
  - 17日 研究会・総会
  - 18日 研究会
  - 19日 巡検
- 11月4日(金) 2022年度第2回幹事会(オンライン会議)

2023年

- 1月25日(水) 2022年度第3回幹事会(オンライン会議)
- 4月18日(水) 2022年度第4回幹事会(オンライン会議)
- 6月 末頃 2022年度第5回幹事会(オンライン会議) = 予定
- 9月1日(金)～3日(日) 第40回歴史地震研究会(小田原大会・小田原三の丸ホール) = 予定

### 2. 第39回歴史地震研究会 総会議事録

日時:2022年9月17日(土) 13:10～14:20

於:関西大学高槻ミュージーズキャンパス

#### ■定足数確認(大邑総務委員長)

歴史地震研究会会則第20条により、総会は会員の10分の1の実出席を要すると定められている。現在の会員数258名、総会参加会員数は51名、委任状提出46名(代理人を議長とするもの41件、会長とするもの5件)で定足数を満たし、総会は成立する。

#### ■松浦律子会長挨拶

#### ■議長選出

佐竹健治会員を議長に推薦。佐竹健治会員が議長に選出され議長が進行を務める。

#### 第一号議案 2021年度事業報告および決算報告

##### 1. 2021年度事業報告

###### (1) 研究成果発表会および講演会

①第38回歴史地震研究会(オンライン苦小牧大会)の開催について(代理:大邑総務委員長)

総会資料第一号議案1.(1)①により説明。

②第39回歴史地震研究会(高槻大会)の開催準備について(林行事委員長)

総会資料第一号議案1.(1)②により説明。

###### (2) 会誌の刊行について(加納編集出版委員長)

総会資料第一号議案1.(2)により、『歴史地震』第37号を2022年8月に発行したことについて説明。

###### (3) 広報活動について(室谷広報委員長)

総会資料第一号議案1.(3)により、ホームページの運用・更新、研究大会の関係学協会への周知、メーリングリストの管理について説明。

###### (4) その他(大邑潤三総務委員長)

総会資料第一号議案1.(4)により、研究会の各事業を行うために、大会中の総会1回と幹事会5回を行ったこと、および社会貢献活動として会員の論文がテレビ番組で紹介されたことを説明。

##### 2. 2021年度決算報告

###### (1) 2021年度決算報告について(諸井財政委員長)

総会資料第一号議案2および説明資料の2021年度会計監査報告書、会員の現況及び会費受取状況により、2021年度の収入と支出、オンライン苦小牧大会の収支について報告。

(2)会計監査報告(中村監査役、植竹監査役)

2021 年度収支決算報告の監査を行い、予算の執行、帳簿、証票の整理等、正常かつ適正に処理されていることを確認した旨報告。

### 歴史地震研究会 2021年度 決算報告

項目		予算額	決算額	増減	内訳
収入	2021年度会費	1,004,000	1,004,000	0	4000円×251名
	2020年度会費	0	8,000	8,000	4000円×2名
	2022年度会費	0	16,000	16,000	4000円×4名
	会誌バックナンバー代	0	17,110	17,110	会誌14部(送税込)
	会誌口絵代・超過頁代	0	93,500	93,500	口絵×4, 超過頁×1
	寄付金	0	30,000	30,000	小磯修一会員
	前年度繰越	3,027,824	3,027,824	0	
	合計	4,031,824	4,196,434	164,610	

支出	2021年度オンライン苦小牧大会関係費	50,000	0	▲ 50,000	収支なし
	次年度以降大会準備費	50,000	0	▲ 50,000	収支なし
	歴史地震37号印刷・発送代	810,000	598,565	▲ 211,435	420部, 振込送料165円込
	歴史地震編集費	25,000	10,220	▲ 14,780	編集補助, 振込送料220円込
	HP管理費	10,000	9,385	▲ 615	振込送料165円込
	会議費	200,000	0	▲ 200,000	オンライン会議のため
	功績賞関連費	100,000	0	▲ 100,000	オンライン大会のため
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	8,706	▲ 21,294	資料送付料・他
	合計	1,275,000	626,876	▲ 648,124	

次年度繰越金	2,756,824	3,569,558	812,734	
--------	-----------	-----------	---------	--

〈第一号議案についての質疑〉

質疑:繰越金が増えているのは感染症拡大の影響によるものか?

応答:幹事会および研究大会がオンラインで開催されているため会議費や大会関係費の支出が減り繰越金が増えている(諸井財政委員長)

(議長)第一号議案 2021 年度事業報告および決算報告の承認

拍手により第一号議案 2021 年度事業報告および決算報告を承認

第二号議案 会長選出

歴史地震研究会会則第 18 条第 2 項に基づき、3 名以上の会員の推薦を得て、現会長である松浦律子氏から歴史地震研究会会長に立候補の届け出があった。以上、報告する。(大邑総務委員長)

(議長)松浦律子氏の次期会長就任の承認

拍手により松浦律子氏の会長就任を承認

第三号議案 監査役選出

歴史地震研究会会則第 18 条第 4 項に基づき、3 名以上の会員の推薦を得て、現監査役である中村操氏および植竹富一氏を次期の監査役に推薦するとの届け出があった。以上、報告する。(大邑総務委員長)

(議長)中村操氏と植竹富一氏の次期監査役就任の承認

拍手により中村操氏と植竹富一氏の監査役就任を承認

■新会長挨拶と役員指名

松浦律子次期会長より挨拶。2022 年度の役員は、副会長に堀川晴央氏(継続)、幹事は総務委員長に大邑潤三氏(継続)、財政委員長に諸井孝文氏(継続)、広報委員長に室谷智子氏(継続)、行事委員長に萬年一剛氏(新任)、編集出版委員長に加納靖之氏(継続)を指名する。各委員会の運営のために必要数の委員を追って指名する。

■各新幹事・監査役より挨拶

#### 第四号議案 2022 年度事業計画および予算案

##### 1. 2022 年度事業計画案

###### (1)研究成果発表会および講演会

- ①2021 年苫小牧大会で予定されていたが延期となった市民講演会を 2022 年 9 月 3 日(土)14 時から苫小牧市民会館小ホールで開催。(大邑総務委員長)
- ②第 39 回歴史地震研究会(高槻大会)を関西大学高槻ミュージックキャンパスにおいて開催。オンラインでの開催は 2019 年徳島大会以来。(大邑総務委員長)
- ③2023 年第 40 回大会を小田原市で開催するため準備を行う。(万年新行事委員長)
- ④2024 年第 41 回大会の大会候補地について候補地の選定、日程調整を行う。(大邑総務委員長)

###### (2)会誌の刊行(加納編集出版委員長)

総会資料第四号議案 1.(2)により、会誌『歴史地震』第 38 号を 2023 年 7 月末頃に発行予定であり、論文を募集する旨と体裁や締め切りについて説明。

###### (3)広報活動(室谷広報委員長)

総会資料第四号議案 1.(3)により、ホームページと会員メーリングリストおよび musha の運営管理を引き続き行うこと、および会員向けメーリングリストへの登録呼びかけを説明。

###### (4)歴史地震研究に関する業績の表彰(大邑総務委員長)

総会資料第四号議案 1.(4)により、歴史地震研究会功績賞の授賞対象者の選考を検討する旨を説明。

###### (5)その他(大邑総務委員長)

会の運営のため総会および年間 5 回程度の幹事会を開催する旨、総会資料第四号議案 1.(5)により説明。

##### 2. 2022 年度予算案(諸井財政委員長)

総会資料第四号議案 2 により 2022 年度予算案について説明。

#### 〈第四号議案についての質疑〉

質疑:会誌 1~14 号を研究会ホームページで公開すべく調整を行っていたはずだがどのような状況か?

応答:1~14 号は権利関係などの諸問題があり研究会のホームページ上で公開することが困難である。幸い古いバックナンバーを国立国会図書館に寄贈したところデジタル化され、国立国会図書館デジタルコレクションに収録された(閲覧は送信サービス限定)。現在、昨年開始された個人送信サービスなどにより 1~14 号をインターネットで閲覧できるようになっている(ただし国会図書館が非公開設定しているページなどは閲覧できない)。よって研究会としては 1~14 号の公開について国立国会図書館デジタルコレクションに一任することとし、著作権処理などからも解放されたと考えている(松浦会長)

質疑:国立国会図書館デジタルコレクションでの会誌 1~14 号の閲覧の方法について研究会のホームページなどで案内しているか?

応答:現在、その方法については案内が掲載できていないため、今後ホームページに掲載したいと考えている(室谷広報委員長)

質疑:国会図書館が公開しているということは権利関係がすべてクリアになっているということか?

応答:国会図書館がグレーと判断したものについては公開されていない。なお会誌の内容そのまま公開されているため、内容のミスなどは著者の責任であり、特に研究会からフォローする予定はない。内容を訂正したいのであれば正誤表などを別で作成し公表する必要がある。

訂正:小田原大会の日程について資料では 1~4 日となっているが 1~3 日の誤りである(万年行事委員長)

質問:小田原大会の会場の収容人数はどのくらいか?

応答:小ホールは 296 席である

#### (議長)第四号議案 2022 年度事業計画および予算案の承認

拍手により 2022 年度事業計画および予算案を承認

■議長解任

■閉会

### 3. 幹事会議事録

## 2021年度 第1回幹事会議事録 (37号で欠落したため対象期間外であるが掲載)

場所:Web 会議

日時:2021年8月12日(木) 17:00~19:00

出席者:松浦(会長), 堀川(副会長), 諸井(財政), 西村(行事), 林(次期行事), 加納(広報), 行谷(編集出版), 植竹(監査), 中村(監査), 大邑(総務)書記

### 1. 入退会者の承認及び2021年度会費の受取状況(財政)

【資料1】入退会者の承認及び2021年度会費の受取状況

- ✓ 入会者5名, 2020年度末退会者1名, 2021年度末退会0名, 2021年度末休会者0名, 2021年度会員特典復活1名, 登録内容変更3名, →入会者を承認
- ✓ 現段階での会員数269名(特典停止中の会員を含まず)
- ✓ 2021年度会費受取状況107名
- ✓ 2020年度会費269名, 2022年度会費納入済1名
- ✓ 2020年度未納者7名(督促した39名のうち未納7名)
- ✓ 2019年度未納者7名(除名処分)
- ✓ 2020年度入退会者まとめ:入会9名, 復活8名, 退会5名, 休会1名, 会費未納8名(2021年度特典停止見込み), 2020年度からの会員特典停止7名(2021年度除名見込み)
- ✓ 入会申請書の書式改訂については大会後の検討事項とする

### 2. 2021年苦小牧大会準備状況(行事)

【資料2】2021年苦小牧大会準備状況

- ✓ プログラムが確定, 座長を依頼し決定した
- ✓ 講演要旨集を編集し最終確認中である
- ✓ 非会員の参加者が6名ほどある予定(学生・地元関係者など) →参加を認めることに決定
- ✓ 今後, 発表の練習日を設定, ポスターPDFのUP先を設定  
→これらと発表要領を発表者に通知(8/16の週)
- ✓ UPされたPDFを確認, 要旨のUP(8/30くらいまでに), Zoom接続先を決定  
→発表者と参加申し込み者に通知(8/31あたり)
- ✓ 公開講演会の準備は順調(苦小牧市広報・新聞「ひらく」に告知を掲載)  
→チラシを研究会HPに掲載することを決定(会員は後日録画を視聴可能な旨を注記)
- ✓ 今後, 講演者への旅費支払い手続きを確認, 会場設営準備と決算, アルバイトの手配(駐車場係), 公開講演会の録画練習と機材確認(北大で担当), 進行と進行役を決定(→会長が挨拶と司会を行うことを決定), 当日の工程表を作成(休憩時間・質疑応答時間)

### 3. 総会準備について(財政・総務)

【資料3】2020年度決算報告, 2021年度予算案他

【資料4】第38回総会資料(案)

- ✓ 総会資料案を確認・修正
- ✓ 財政より決算予算, 会計監査の結果を報告  
→8/17を締切りとして最終修正し確定してHPに掲載  
→同時に委任状の案内を行う
- ✓ 総会のZoomは去年と異なり研究発表会用のアカウントと同じものを使うことに決定  
→非会員は待機室などへ移動してもらうか一度切断してもらう
- ✓ 総会参加は大会に参加している会員のみとする
- ✓ 承認は前回同様にZoom投票機能を使う(Zoomのアップデートを周知)

### 4. 2021年高槻大会について

【資料5】歴史地震研究会2022年高槻大会について

- ✓ 日程は2022年9月17日(土)~19日(月)または9月10日(土)~12日(月)→17日からの案とする
- ✓ 会場は関西大学高槻ミュージックキャンパス(高槻キャンパスとは別なので要注意・使用料は安価)
- ✓ プログラム案  
1日目午前:研究発表, 午後:研究発表および総会, 夜:懇親会  
2日目午前:研究発表, 午後:研究発表 3日目:巡検
- ✓ 市民講演会は開催しない
- ✓ 巡検コース案を説明・検討(高槻市立今城塚古代歴史館および今城塚古墳・京都大学阿武山観測所)  
→交通手段が問題なので(大型バスは阿武山に入れない)参加人数によって検討

- ✓ 関西周辺で行事委員として補助できる人を探す

#### 5. 「歴史地震」の編集について（編集出版）

##### 【資料6】『歴史地震』の編集について

- ✓ 無事会員や図書館に36号が届いた
- ✓ 宛先不明で戻ったものは振興会から再送
- ✓ カラーチャージとページ超過分の費用についてはこれから連絡予定
- ✓ 35号のウェブ公開準備を行い同時に36号も早々に来年公開したい
- ✓ 33号のウェブ公開版についてカラー版をアップロードしてほしいとの連絡があったが差し替えは問題ないか？原稿は誰が持っているのか？ →差し替えは問題ない。原稿は次回幹事会までに用意。

#### 6. 広報活動について（広報）

- ✓ 大会関係について準備をしている最中である
- ✓ 会員現況確認については現在10件ほど来ている状況
- ✓ 新入会員が増えたのでメーリスへの登録を行う

#### 7. その他

- ✓ 図書館への会誌寄贈について検討
- ✓ 2023年大会(大正関東地震100周年)について関東での開催を検討

○次回幹事会はオンライン苦小牧大会後の予定（Web開催）

## 2021年度 第5回幹事会議事録

場所:オンライン会議

日時:2022年6月22日(水) 17:00~18:20

出席者:松浦(会長), 堀川(副会長), 諸井(財政), 林(行事), 加納(編集出版), 室谷(広報), 植竹(監査), 中村(監査), 大邑(総務)

#### 1. 入退会者の承認及び2021年度会費受取状況（2022年4月26日~2022年6月21日）（財政）

- ✓ 新規入会者2名, 2021年度末退会者0名, 2021年度休会者0名, 特典停止からの復活0名  
→新規入会者を承認(現会員総数276名)
- ✓ 登録内容変更5名
- ✓ 2021年度会費受取状況250名(前回幹事会から+13名, 督促によるもの9名, 未納26名)  
→休会者について検討
- ✓ 2020年度会費270名(2021年度特典停止6名)
- ✓ 2022年度会費3名納入済

#### 2. 2022年高槻大会準備状況について（行事）

- ✓ 昨年中止となった苦小牧での公開講演会を9月3日(土)に実施予定
- ✓ 苦小牧市と厚真町に共催申請(苦小牧市からはすでに返事あり)
- ✓ 会場費15,860円のほかに機材レンタル費と講師旅費を研究会が負担  
→会長旅費, アルバイト代について検討
- ✓ 高槻大会についてはポスター発表をとりやめ発表34件すべてを口頭発表に切り替え
- ✓ ポスター発表がなくなったため使用する部屋を2部屋から1部屋に減らした
- ✓ 1セッションあたり30分程度のディスカッションの時間を設定した
- ✓ 総会は1日目の昼休み後に実施  
→プログラムと座長候補を検討
- ✓ プログラムを確定し近日中にホームページで公開して日本地震学会のメールニュースに掲載
- ✓ 今後の予定および巡検について説明・検討

#### 3. 「歴史地震」の編集について（編集出版）

- ✓ 37号:論説7, 資料5, 報告2, 訂正1, 要旨36, 総ページ数156(見込み)
- ✓ 編集作業の進捗状況(遅れ)について報告 →支払い時期について確認
- ✓ 発行部数について確認(保管を20部とする)
- ✓ 送付先リストについて確認
- ✓ 会費払込票, 著者贈呈用冊子について確認
- ✓ 編集担当者の資料確認のための交通費について検討

- ✓ 「研究会記事」の投稿方法に関する記述について検討

#### 4. 広報活動について（広報）

- ✓ 各メーリングリストの管理・登録・編集を実施
- ✓ ホームページは議事録掲載，過去大会リンクの修正，36号の公開
- ✓ webmaster宛メールへの対応
- ✓ 今後，研究会ホームページの更新，高槻大会の広報を行う

○次回幹事会は8月の予定（オンライン開催）

## 2022年度 第1回幹事会議事録

場所:オンライン会議

日時:2022年8月12日(金) 17:00～18:20

出席者:松浦(会長), 堀川(副会長), 林(行事), 加納(編集出版), 室谷(広報), 植竹(監査), 中村(監査), 大邑(総務)

欠席者:諸井(財政)

#### 1. 2022年高槻大会準備状況について（行事）

- ✓ プログラム編成と予稿集制作など準備進捗状況について説明 →動画発表について検討
- ✓ 冊子の予稿集は作成する予定でなかったが補助金により100部印刷する  
→Zoomの接続先，総会資料の通知方法について検討
- ✓ 参加申し込み者数について説明
- ✓ 部屋の使用料，アルバイトの確保，オンライン対応などを説明
- ✓ 現状の会場のコロナ警戒レベル，懇親会の中止について説明 →懇親会の中止を決定
- ✓ 巡検のマイクロバス，参加者数，ルート昼食などについて説明
- ✓ 苫小牧市公開講演会について説明 →研究会HPに案内を出すことを決定

#### 2. 総会準備（総会資料案等）について（総務・財政）

- ✓ 予算費目などの内容について検討
- ✓ オンライン参加者は総会参加者に含めないことを確認
- ✓ 総会議長について確認

#### 3. 「歴史地震」の編集について（編集出版）

- ✓ 37号について発送作業が完了
- ✓ 宛先不明の扱い，追加購入，カラーチャージなどについて報告
- ✓ 37号のWeb公開PDFについて手順を確認
- ✓ 編集委員の追加を検討していることを報告

#### 4. 広報活動について（広報）

- ✓ 各メーリングリストの管理・登録・編集を実施
- ✓ ホームページは高槻大会第2報の掲載，研究会開催情報の更新
- ✓ webmaster宛メールへの対応2件
- ✓ 高槻大会の広報として地震学会メールニュース・ニュースレター，各学会への周知依頼を行う
- ✓ 今後，研究会ホームページの更新をおこなう

#### 5. その他

- ✓ (一社)授業目的公衆送信補償金管理協会への登録について →登録することを決定

○次回幹事会は高槻大会後の予定（オンライン開催）

## 2022年度 第2回幹事会議事録

場所:オンライン会議

日時:2022年11月4日(金) 17:00～19:00

出席者:松浦(会長), 堀川(副会長), 諸井(財政), 林(旧行事), 萬年(新行事)加納(編集出版), 室谷(広報), 植竹(監査), 中村(監査), 大邑(総務)

1. 入退会者の承認及び会費受取状況（財政） ※2022年6月22日～2022年11月3日（前回欠席のため）
  - ✓ 新規入会者2名, 2022年度末退会者3名, 2022年度休会者0名, 2022年度休会からの復会1名, 2022年度特典停止からの復活1名  
→新規入会者ほかを承認（現会員総数262名）
  - ✓ 登録内容変更6名
  - ✓ 2021年度末休会1名(前回幹事会財政欠席のため未報告)
  - ✓ 2022年度会費受取状況202名(未納60名)
  - ✓ 2021年度会費265名(2022年度特典停止10名)
  - ✓ 2023年度会費3名納入済
2. 役員および委員名簿の確認（総務）
  - ✓ 役員名簿および役員の委嘱について確認
  - ✓ 今回委嘱状はデジタルで簡潔できたので捺印や郵送の手間がなかったことを報告
3. 2022年高槻大会のまとめ（行事）
  - ✓ 大会の収支報告により剰余金が発生したことを報告
  - ✓ 予稿集の余りについては総務に送付したことを報告
  - ✓ 大会セットを新行事に送付したことを報告
  - ✓ 大会セットのうち故障した機材（レーザーポインタ）について処分したことを報告
  - ✓ 今後使えなくなった備品や時代にそぐわなくなった備品は適宜処分していくことを了承
4. 2023年小田原大会について（新行事）
  - ✓ 日程, 会場(予約済), 会場費(小田原市と折半を検討)について説明
  - ✓ 行事委員会の態勢についてメンバーと役割を相談
  - ✓ 委嘱状の発行, 行事委員メーリングリスト作成について確認
  - ✓ デジタル化, 省力化について相談
  - ✓ 巡検の保険(レクリエーション保険)について検討
  - ✓ 懇親会の規模と会費, 形式について相談と確認
  - ✓ 公開講演会の講演者について相談 →3名程度とすることを決定
  - ✓ 巡検ルート案について説明
5. 「歴史地震」の編集について（編集出版）
  - ✓ 編集委員を1名追加することを説明
  - ✓ 37号のカラーチャージ料金の請求, 38号の締切について案内したことを説明
6. 広報活動について（広報）
  - ✓ 各メーリングリストの管理・編集を実施
  - ✓ 研究会ホームページは研究会開催ページの更新, 会誌原稿募集の案内, 会誌1～14号までの閲覧方法の更新(国会図書館デジタル)を行ったことを説明 →役員名簿(編集委員の追加)を更新する
  - ✓ webmaster宛メールへの対応5件
  - ✓ 苫小牧大会公開講演会の動画について公開準備(会員のみ)をおこなう
  - ✓ 会員向けメーリングリストの整備をおこなう
  - ✓ 『歴史地震』の総目次について確認
7. その他
  - ✓ 行事委員の役員交代について確認
  - ✓ 授業目的公衆送信補償金制度について
  - ✓ 会誌への「著書の紹介」掲載について(歴史地震関係書籍の一覧としてISBNがついたものに限る等)

○次回幹事会は年末もしくは年始の予定（オンライン開催）

## 2022年度 第3回幹事会議事録

場所:オンライン会議

日時:2023年1月25日(水) 17:00～18:00

出席者:松浦(会長), 堀川(副会長), 萬年(行事)加納(編集出版), 室谷(広報), 植竹(監査), 中村(監査), 大邑(総務)

欠席者:諸井(財政)

1. 入退会者の承認及び会費受取状況（財政）※財政欠席のため総務が代読

- ✓ 新規入会者 2 名, 2022 年度末退会者 0 名, 2022 年度休会者 0 名  
→新規入会者承認(現会員総数 264 名)
- ✓ 登録内容変更 1 名
- ✓ 2022 年度会費受取状況 213 名(未納 51 名)
- ✓ 2021 年度会費 265 名(2022 年度特典停止 10 名)
- ✓ 2023 年度会費 4 名納入済

2. 「歴史地震」の編集について（編集出版）

- ✓ 投稿数および総ページ数が前号より多めであることを報告
- ✓ 査読の進捗状況について報告
- ✓ 会員以外に査読を依頼したため謝金が発生することを報告
- ✓ 編集出版委員会をオンライン開催したことを報告
- ✓ 37 号の Web 公開の予定について報告

3. 2023 年小田原大会について（行事）

- ✓ 公開講演会の講師について 3 名に承諾を得たことを報告
- ✓ 懇親会について前回相談した規模で進めていることを報告
- ✓ 行事委員について委嘱状を逐次発行することを確認

4. 広報活動について（広報）

- ✓ 各メーリングリストの編集・追加を実施
- ✓ 研究会ホームページは役員ページ(編集委員)の更新を行った →行事委員についても逐次追加
- ✓ webmaster 宛メールへの対応 1 件(メールにて議論したが先方へは回答できなかった)
- ✓ 会員向けメーリングリストの整備を行う
- ✓ 苫小牧大会公開講演会の動画公開を行う

5. その他

- ✓ 2024 年大会について
- ✓ 小田原大会の第 1 報について
- ✓ 研究会用 Google アカウント作成について検討

○次回幹事会は 4 月頃の予定（オンライン開催）

## 2022 年度 第 4 回幹事会議事録

場所:オンライン会議

日時:2023 年 4 月 18 日(水) 17:00~18:40

出席者:松浦(会長), 堀川(副会長), 諸井(財政), 萬年(行事), 加納(編集出版), 室谷(広報), 中村(監査), 大邑(総務)

欠席者:植竹(監査)

1. 入退会者の承認及び 2021 年度会費受取状況（2022 年 4 月 26 日~2022 年 6 月 21 日）（財政）

- ✓ 新規入会者 2 名, 2022 年度末退会者 2 名, 2022 年度休会者 0 名, 2019 年度以降の除名復活 1 名  
→新規入会者と復活を承認(現会員総数 267 名)
- ✓ 登録内容変更 6 名
- ✓ 2022 年度会費受取状況 219 名(未納 48 名) →5 月以降に督促の予定
- ✓ 2021 年度会費 266 名(2022 年度特典停止 10 名)
- ✓ 2023 年度会費 4 名納入済

2. 2023 年小田原大会準備状況について（行事）

- ✓ 各種申込みの方法(申込みフォーム)について確認
- ✓ 公開講演会のタイトル, 時間割, 司会, 小田原市との調整状況について確認
- ✓ 巡検のルート, 懇親会の場所および料金等を確認  
→大会の案内では 6~8 千円と案内することを決定  
→各種申込みフォームが確定してからホームページに案内を掲載し会員メーリスに配信することを決定
- ✓ 予稿集原稿の集め方, 巡検の保険, 行事委員メーリスの作成について確認



### 3. 「歴史地震」38号の編集について（編集出版）

- ✓ 38号編集状況:論説9,資料8,報告4,訂正0,要旨26,総ページ数266(見込み)
- ✓ 編集作業の進捗状況と今後の予定について報告
- ✓ 見積りについて値上がりする予定であることを説明 →見積確認後に前田印刷に発注予定
- ✓ 発行部数を420部とすることについて説明
- ✓ 送付先リスト,会費払込票,著者贈呈用冊子について確認
- ✓ 著者贈呈用冊子については例年千円(会員のバックナンバーの値段)としているが値上げの可能性のあることを説明

### 4. 広報活動について（広報）

- ✓ 各メーリングリストの管理・編集・追加を実施
- ✓ 研究会用 Google アカウントを作成したことを報告(ひとまず広報管理とする)
- ✓ webmaster 宛メールへの対応3件
- ✓ 今後,メーリングリスト,苫小牧市公開講演会の動画の公開,行事委員のMLの作成,小田原大会開催情報(第1報)のWeb掲載,各所への広報を行う

### 5. 功績賞の選考について

- ✓ 本幹事会前に功績賞選考委員会が開かれ1名を選考したことを報告 →幹事会で承認される
- ✓ 賞状の文面の作成,業者への発注を行うことを確認

### 6. その他

- ✓ 国土地理院からの依頼について検討(『地図にみる関東大震災』について) →著者に連絡をとる
- ✓ 学術著作権協会からの入金について →雑収入として通常会計に繰り入れることを決定
- ✓ メディア対応について報告
- ✓ 2024年および2025年大会の開催場所等について
- ✓ 国会図書館のWARPへの登録について報告 →ホームページを整理することを確認
- ✓ 研究会の印鑑(電子印)について確認
- ✓ 会員で連絡先の変更等が発生したものの情報収集について →ホームページに案内を掲載

○次回幹事会は6月頃の予定(オンライン開催)

## 4. 第40回歴史地震研究会(2023年9月1~3日,小田原大会)関係

### 第40回歴史地震研究会申し込み案内

#### ■ 第40回歴史地震研究会(小田原大会)のお知らせ(第1報)

歴史地震研究会では、以下の日程で第40回歴史地震研究会(小田原大会)を開催することになりました。講演申し込みの〆切は5月31日(水)、懇親会・巡検の参加申し込み〆切は7月31日(月)です。

#### 1. 場所

小田原三の丸ホール 小ホール  
神奈川県小田原市本町1丁目7-50 JR小田原駅東口から徒歩13分  
<https://ooo-hal.jp/> (小田原三の丸ホール)  
<https://ooo-hal.jp/access/> (アクセス・来館情報)

#### 2. 日程

2023年9月1日(金)~3日(日)の3日間  
1日:研究会(口頭発表・ポスター発表)・懇親会  
2日:研究会(口頭発表・ポスター発表)・総会  
3日:巡検(午前)・公開講演会(13:30~16:45を予定)

公開講演会は会員・非会員とも無料です。研究発表会は大会参加費として会員2,000円、非会員4,000円を徴収する予定です。懇親会(会費8,000円程度)は近隣の会場で開催します。巡検の参加費は未定です。

#### 3. 公開講演会

テーマ:「関東地震100年:日本史上最悪の地震災害の実態と最新研究」

講演者:○武村雅之氏(名古屋大学減災連携研究センター)「関東大震災の真実を求めて:帝都復興事業と現在の東京」

○吉田律人氏(横浜都市発展記念館)「横浜市民の関東大震災一被災者の体験記を中心に」

○宍倉正展氏(産業技術総合研究所)「くり返す関東地震:過去6千年の歴史」

#### 4. 巡検

大船駅集合~材木座散策(津波・地震の伝承地巡り)~長谷寺展望所~鎌倉市国宝館の特別展示解説(12時頃解散予定、昼食無し)

※現在検討中で変更する場合があります。なお、公開講演会会場へ移動・聴講することが可能となるよう解散時刻を設定していますが、渋滞や鉄道の遅延などもあり得ますので、講演会開始前の到着は保証しかねますことをご了承ください。

#### 5. 講演申込

発表希望で、会費を完納されている会員は、講演申込サイトから手続き願います。https://forms.office.com/r/xTKTHYvw00

#### 6. その他

- ・新型コロナウイルスのまん延状況などを考慮して、全部または一部の予定の変更やキャンセルが生じる場合があります。
- ・発表形式はご意向に添えない場合があります。
- ・小田原駅周辺および東海道線、小田急線、箱根登山線、大雄山線の沿線にはホテルが各種ありますので各自ご予約ください。
- ・大会の情報は研究会ウェブサイトの「研究会開催情報」(https://ww.histeq.jp/kenkyukai.html)上で随時更新致します。
- ・問い合わせ先: 歴史地震研究会行事委員会 (rekishi2023@histeq.jp)

## 5. 各種お知らせ・資料

### 『歴史地震』原稿募集のお知らせ

会誌『歴史地震』では、通年、投稿を受け付けておりますが、2024年7月末発行予定の次号(第39号)に掲載希望の方は、2023年11月30日必着でご投稿をお願いいたします。なお、投稿を受付済みで未掲載の記事は、次号への掲載希望として取り扱っております。

#### 1. 募集原稿の内容

『歴史地震』は、歴史上の地震・火山噴火ならびにそれに関連する諸現象・諸問題を対象とする記事で構成し、記事の種別として、論説、資料、講演要旨、報告、紹介を取り扱います。頁数の上限は、論説と資料は20頁、講演要旨は1頁、報告と紹介は4頁ですが、超過が認められる場合もあります。編集出版委員会では、第39号を次の記事を中心に構成する方針です。

- (1) 2023年9月の第40回歴史地震研究会での発表内容に関連する記事
- (2) 昨年までの研究会で発表された内容、あるいはそのほかのオリジナルな内容に関する記事
- (3) 2023年9月の第40回歴史地震研究会の講演要旨集に掲載された講演要旨

これらのうち、(1)、(2)の投稿をお待ちしています。

#### 2. 編集体制と編集方針

『歴史地震』は以下の編集体制・方針を取っております。

- (1) 編集出版委員会で編集作業を進めます。
- (2) 論説および資料については、査読制を取り入れていますので、基準を満たさない記事は掲載できません。少なくとも1名の査読者が原稿を読んで意見を著者にフィードバックし、不備を指摘・訂正していただきます。
- (3) 原稿を作成する標準的な体裁『歴史地震』の標準書式」を定めています。最新の標準書式に従ったWordファイルが歴史地震研究会のウェブサイト(<http://www.histeq.jp/kaishi.html>)からダウンロードできますので、このファイルを書き換える形で原稿を準備されることをお奨めします。
- (4) 電子ファイルでの投稿を奨励します。少なくとも本文は電子ファイル(フロッピーディスク等あるいはメール)で投稿していただくと、編集作業が効率的に行えますので、ご協力をお願いいたします。
- (5) 「投稿シート」(次頁に記載)に必要な事項をご記入のうえ、このシートとともにご投稿ください。最新の様式の「投稿シート」は上記ウェブサイトからもダウンロードできます。
- (6) 最終原稿は、印刷物としての『歴史地震』のほか、PDF版が歴史地震研究会のウェブサイトでオンラインジャーナルとしても一般に公開されます。原則として、印刷物はモノクロで刊行します。
- (7) 掲載料の頁単価は、モノクロページが1,500円、口絵のカラーページが23,000円です(予定)。ただし、投稿者が会員の場合は、1.に示した頁数までのモノクロページについては、無料です。
- (8) その他詳細は、編集規定をご覧ください。

#### 3. 投稿先

- ・電子メールでご投稿の場合: histeq@histeq.jp
  - ※ 添付ファイルが5MB以上の大きさになる場合には、一般的なファイル送信サービスをご利用頂くか原稿提出窓口(histeq@histeq.jp)までご相談下さい。
  - ※ 原稿を受領した場合は、必ずその旨の返信をしております。一週間以上経過しても受領の連絡がない場合には、何らかの原因でファイルを受け取ることができていない可能性がありますので、お手数ですが、上記アドレスまで再度お問い合わせください。
- ・郵送でご投稿の場合: 〒101-0064 千代田区神田猿樂町1-5-18 千代田ビル8F  
地震予知総合研究振興会内歴史地震研究会編集出版委員会 宛
  - ※ 郵送で投稿する場合は、確認のため、上記電子メールアドレスにも連絡して下さい。
- ・ご投稿の際には、忘れずに「投稿シート」をご提出ください。

# 『歴史地震』 投稿シート

ver.202006

## <基本情報>

記事の種類	論説・資料・報告・紹介 ※ 論説および資料の場合は、査読の対象となります。	
記事タイトル		
著者		
投稿者(連絡責任者)	氏名	
	所属	
	郵便番号・住所	〒
	電話番号	
	電子メールアドレス	

## <質問・チェック事項>

### 記事について

(1) 記事の内容は過去の歴史地震研究会で発表した内容ですか？	はい・いいえ
・「はい」の場合、発表年・開催場所・発表番号(O-12 など)をご記入ください	
※ 発表済の場合は、編集出版委員会の判断で、通常2名以上の査読者を1名とすることがあります(論説、資料の場合)。	

### 体裁・形式について

(3) 原稿は、歴史地震研究会ウェブサイトからダウンロードした標準書式のWord ファイルを書き換えて作成したものでしょうか？	はい・いいえ
<p>・「いいえ」の場合、以下の標準書式に従っていることを十分に確認してください。標準書式からのずれが大きい原稿は、編集出版作業に手間がかかりすぎるため、受け付けられないことがあります。</p> <p><input type="checkbox"/> A4 サイズ, 左右の余白各2cm, 上下の余白各2.5cm</p> <p><input type="checkbox"/> フォントは和文が明朝体, 英文がTimes</p> <p><input type="checkbox"/> 文字サイズは, 和文タイトル16 pt , 英文タイトル12pt, 所属・著者名10.5pt, 英文要旨10.5pt.</p> <p><input type="checkbox"/> 著者の連絡先は和文の所属に脚注として加える。</p> <p><input type="checkbox"/> キーワードは英文要旨の次の行に Keywords: xxxx, www, zzz. のように記入する。</p> <p><input type="checkbox"/> キーワードの下でセクションを切り替え, 本文は2 段組とする。段の横幅は8cm, 段の間は7mm 程度, 1 行22 文字, 1 ページ45 行とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 本文の文字サイズはすべて10.5pt .</p>	
(4) 記事の種類が「論説」あるいは「資料」の場合、英文の表題、英文の著者名・所属、英文要旨(200 語程度)、英文キーワードを備えていますか？	はい・いいえ・該当しない
(5) 句読点は「, 」と「. 」で統一されていますか？ ※ されていない場合は検索・置換ツールを使って統一してください	はい・いいえ

(6) 本文中で和暦と西暦が混同されるおそれはないですか？ ※ 歴史地震研究会では、混同を避けるため、和暦には漢数字(宝永四年十月四日など)、西暦にはアラビア数字(1707年10月28日など)を使うことを推奨しています。	ない・ある
(7) 西暦1582年以前の西暦は(グレゴリオ暦ではなく)ユリウス暦を用いていますか？	はい・いいえ・該当しない
・「いいえ」の場合、使っている暦の種類が明記されていますか？	はい・いいえ

#### 図・写真について

(8) 既公表の文献(自分で公表したものも含む)や機関・個人が所蔵している史料から転載した図や写真はありますか？	はい・いいえ
・「はい」の場合、出版社・学会や機関、個人に転載許可をとっていますか？	はい・いいえ
(9) 製本(印刷)版でカラー図・写真の掲載を希望しますか？	はい・検討中・いいえ
・「はい」もしくは「検討中」の場合、希望する図・写真の番号をご記入ください	
<p>※ カラー図を希望された場合、本文中にはモノクロの図が掲載され、そのカラー版が口絵として巻頭に再掲される格好となります。モノクロとカラーで図の内容・サイズを変更することはできません。なお、カラー頁料金が追加の掲載料が発生します。</p> <p>※ 歴史地震研究会ウェブサイトで公開されるオンラインジャーナル(PDF版)では、希望の有無に関わらず、フルカラーとなります。</p>	
(10) カラー掲載しない図について、モノクロ印刷に必要な情報が判読・識別可能ですか？	はい・いいえ・図はない